

日本技術士会 中国本部 応用理学部会 活動報告

講演 タイトル	平成 30 年度 応用理学部会例会・講演会
講演日時	2018 年 9 月 15 日（土） 13 時 00 分～16 時 45 分
場所	ロイヤルタワーウエノヤビル 2 階 コンファレンススクエア エムプラス 〒732-0827 広島市南区稲荷町 1-1 ロイヤルタワーウエノヤビル
講演内容	<p>【講演 1】 題目：どう逃げる？深層崩壊で発生する大規模山津波と“広島型”小規模山津波から 講師：横山俊治 高知大学名誉教授</p> <p>【講演 2】 題目：近年の土砂災害に関する討議（2018 年西日本土砂災害に関する話題提供） 講師：参加者全員による討論</p>
講演メモ	<p>【講演 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用語から想像されるイメージが防災上とても重要だ ・小規模山津波と大規模山津波を分けて、小規模であれば逃げることができる。大規模は逃げられないと考えることだ ・道路を使って逃げたら被災していた事例があるため、ハザードマップには、安全な逃げ道を示すことが大事だ。 <p>【講演 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土石流が発生した場合を想定して、マンションなどの避難所を多く示すべきだ ・土砂災害の被災タイムスパンは岩盤の風化ではなく、雨のサイクルと関連する ・日ごろから被災履歴が分かるようにすべきではないか

講演の様子（写真など）

